

テーマ名 値値創造工房 - 未来を切り拓くモノつくり-

(英文名) Value Creation Studio - For Creating our New Future -

1 担当教員 :

○ 松下ステファン悠 准教授 (TEL 022-795-7996 stephaneyu.matsushita.a5@tohoku.ac.jp)

加藤毅 特任准教授 (TEL 022-795-2283 takeshi.kato.b4@tohoku.ac.jp)

池ノ上芳章 特任教授 (TEL 022-795-7249 yoshiaki.ikenoue.b7@tohoku.ac.jp)

森谷祐一 教授 (TEL 022-795-4310 hirokazu.moriya.e1@tohoku.ac.jp)

2. 受入人数 : 30名

3. 実施時期 : 第2セメスター

4. 初回開始日時及び場所 : 10月 7 日 (月)

16 : 30 (@工学部総合研究棟11階アントレプレナーシップ教育部門・講義室)

5. 概 要 :

みんながあと驚くような独創的なものを作りたい！

「“作れる”を知り，“作る”を始め，“創り出す”に至る」。価値創造工房では、シリコンバレー流の世界があと驚くモノつくりのメソッドを用いて、誰もがクリエイティブな人材になれるよう、「アイデアを着想し、それをカタチにし、ブラッシュアップしていく」術を学びます。①～③のステップで、手を動かし試作を楽しむマインド醸成、身の周りのもので素早くアイデアをカタチにするスキル習得、そして顧客の気持ちをぐっと掴むためのより高度な試作作製への挑戦を行います。シリコンバレー等で常識となっているデザイン思考を用いた新しい価値を生むモノの創り方法を学びます。講義の他に、小学生と共に独創的なツールを作る創造ワークショップや、海外派遣研修に行けるチャンスなど、様々な挑戦の機会とも連携しています。

① **Try&Error 実習** : マシュマロチャレンジなど、特段の専門知識を必要としない決められた課題にグループで取り組む。

② **Quick プロトタイプ** : 各グループで課題（“スマートフォンのように、それなしの生活にもどれないもの”など）を選択し、身の回りにある安価な材料を使って短時間で自分達のアイデアをカタチにする。複数回の演習を通じて、顧客インタビューなども交えて試作をブラッシュアップしていく。

③ **Tech プロトタイプ** : 創造工学センター等を利用して、簡単な電子工作やノーコードソフトウェア、3Dプリンターなどを用いて、実際に動くモノを作り出し、周囲の人々（顧客）を驚かせるような試作作製にチャレンジする。



プロトタイピングの様子